

鹿児島県立大口高等学校出張授業

— 目に見えない電波を捕まえる —

岩田一樹

電気情報技術系

1 はじめに

熊本大学では、高等学校に出向いて、専門的な内容をわかりやすく高校生に教授する「出前授業」を実施している。これは、大学での授業の雰囲気や、日頃授業では体験できない内容を出前授業で体験することによって、生徒に専門的な分野の内容や大学そのものにも興味をもってもらう事を目的にしている。

本テーマは、情報電気電子工学科（松島彰教授）が担当し実習の補助を行った。

2 内 容

鹿児島県立大口高等学校への出前授業では、県内外10の大学・短期大学よる分野ごとの22の出張講義が行われた。本テーマでは情報電気電子技術のうち、無線技術，電気エネルギーに関する技術，および信号の伝播や処理に関する技術について学びその理解を深める。

日程 平成25年11月8日（金）

授業の計画

- 14:05～14:15 熊本大学工学部の紹介
- 14:15～14:30 電波を知る
- 14:30～14:45 携帯電話と放送の電波
- 14:45～15:00 部品の測定
- 15:00～15:15 ラジオのしくみと受信

3 まとめ

鹿児島県立大口高等学校を訪問し、工学部の紹介をするとともに、「電波を捕まえる—われわれの周りにはどのような電波が飛んでいるか—」と題する出前授業を行った。普段の授業では体験できないような講義を受講してもらい電波について興味を持ってもらった。生徒は講義を通してそれぞれの大学・短期大学について知ることができ、これからの進路のきっかけになればと思う。高校生や高校教員と進路に関する情報交換を行うことができ、大学の情宣活動として有益なものとなった。

